

【横浜横須賀道路の概要】

平成20年度開通を目指して建設を進めています。



横須賀市馬堀海岸付近の施工状況



横須賀市桜ヶ丘付近の施工状況（馬堀IC（仮称））



快適な暮らしを支える道です。

横浜横須賀道路(佐原～馬堀海岸)の延伸により、新たに2つのインターチェンジが整備されます。これらのインターチェンジを利用することで、浦賀・馬堀・馬堀海岸地区からの横浜横須賀道路へのアクセスが容易になり、横浜方面への所要時間が短縮します。また、これまで横浜横須賀道路の佐原ICを利用していた交通が、馬堀IC(仮称)、馬堀海岸IC(仮称)の2つのインターチェンジに分散するため、地域の交通状況の改善が期待されます。

浦賀駅から佐原ICまでの所用時間が約1/5に。



馬堀海岸三丁目から佐原ICまでの所用時間が約1/3に。



※1 朝夕の混雑時の所要時間を使用しています。
※2 横浜横須賀道路の所要時間は計算値です。

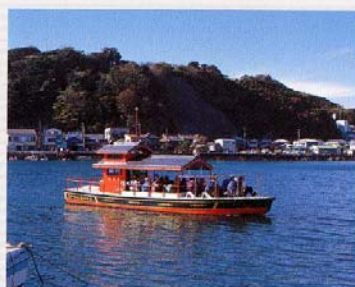


豊かな自然と歴史のまちへと導く道です。

この道路の整備により、東京湾を望む観音崎や歴史のまち浦賀などへのアクセスが容易になります。マリンレジャーや観光などで多くの人を地域へ呼び込む道路として、魅力あるまちづくりに貢献します。



ペリー記念碑



浦賀の渡し船



観音崎

浦賀町 浦賀は歴史の町、日本を開国に導いたペリーの浦賀来航(嘉永6年1853年)や慶安元年1648年に築造された灯台の先祖というべき燈明堂で知られています。また、浦賀の渡し船もその歴史は古く、浦賀のシンボリック存在です。

観音崎 観音崎は東京湾の入口で房総半島を間近に望む自然豊かな景勝地です。この付近の海は狭い上に潮が速く海上交通の難所です。観音崎灯台は日本最初の洋式灯台として明治二年に点灯しました。



安心して暮らせるまちを バックアップする道です。

少子高齢化が進む現在、医療に対しては誰もが強い関心を示しています。総合的な医療や専門の医療を受けるために遠方の病院を利用する受診・通院も必要になっています。この道路は病院への通院や患者の緊急輸送時などに強い味方となって、暮らしの安心を支えます。

さらに、今、安全や災害に強いまちづくりが求められています。この道路は阪神大震災クラスの地震にも十分耐えられる構造を採用しています。自然災害などにより浦賀・馬堀・馬堀海岸地区の交通機能が大きなダメージを受けた際の緊急・代替・応援のルートとして安全や防災をバックアップする道路となることが期待されます。

地域の安心の拠点
[佐原交番]



より高度な救命活動
[高規格救急車]



緊急消防援助隊
[横須賀市消防局]

